

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第11週 （3月9日～3月15日）

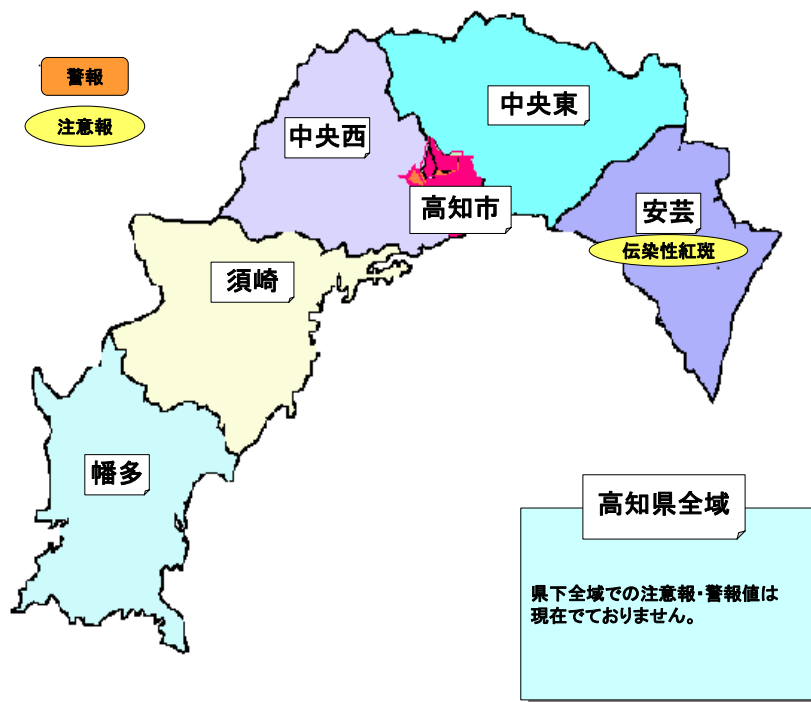
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	2. 27	須崎で減少していますが、幡多、中央西、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	1. 83	中央西、幡多で急減、県全域、高知市、須崎で減少しています。
RSウイルス感染症	↗	0. 83	須崎で減少していますが、高知市、中央東で急増、県全域で増加しています。
インフルエンザ	↓	0. 48	県全域、中央東、安芸、須崎、幡多で急減、中央西、高知市で減少しています。
伝染性紅斑	→	0. 40	中央東、幡多で急減していますが、安芸、中央西、高知市で急増し、安芸では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

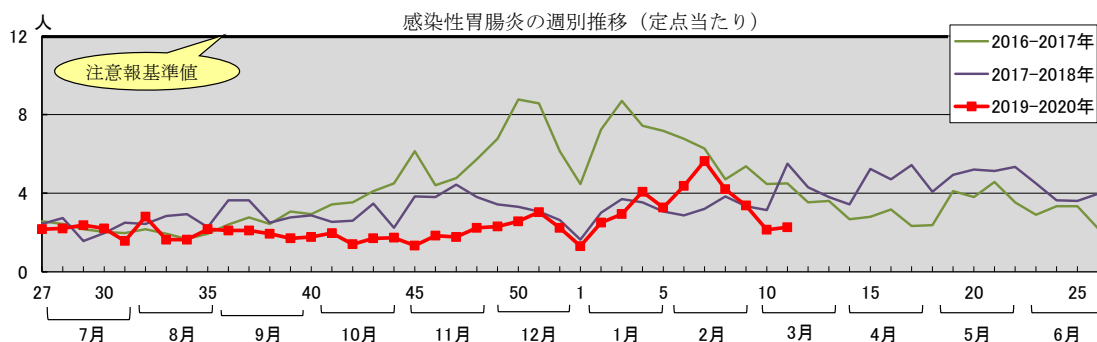
○感染性胃腸炎に気を付けて！

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



<予防方法> 手洗いが有効です

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。（ノロウイルスについてアルコール消毒は無効です）

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう。

食中毒の一般的な予防方法（【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

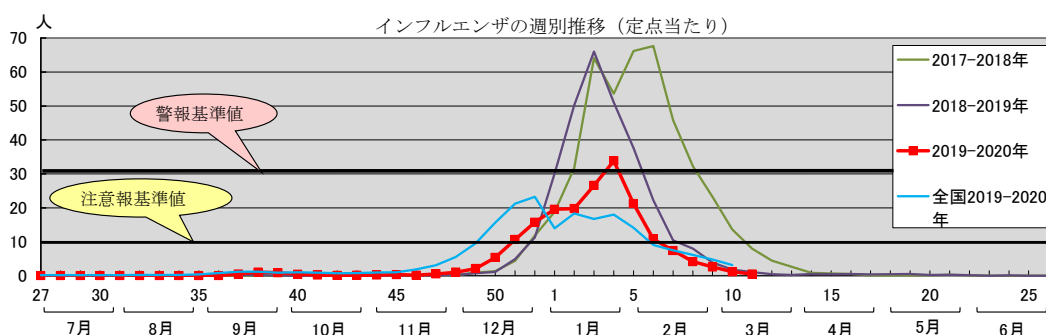
【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

○インフルエンザに気を付けて！

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型2件、B型件の報告があります。

インフルエンザの報告数はピーク時（第4週：33.83件/定点）の約1/70に急減し流行の目安である1.00を下回り非流行期となりましたが、患者報告は継続しているため、外出後の手洗い等感染予防を心掛けましょう。症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。



<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infu/enza/index.html

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

第11週に安芸福祉保健所から重症熱性血小板減少症候群の発生届けが1件報告されています。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_ga.html

●高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

＜国内のインフルエンザウイルス検出状況＞

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週（2020年第6週～第10週）では、AH1pdm09の検出割合が最も多く55%（119件）、次いでB（ビクトリア系統）が43%（95件）、AH3が2%（4件）となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	1	60歳代 女	安芸
5類	梅毒	1	3	50歳代 男	高知市
	百日咳	1	21	10～14歳 女	
		1		5～9歳 男	幡多
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1	12	60歳代 女	安芸
		1		80歳代 男	中央東
		1		50歳代 男	高知市
		1		90歳代 男	中央西

★定点医療機関からのホット情報

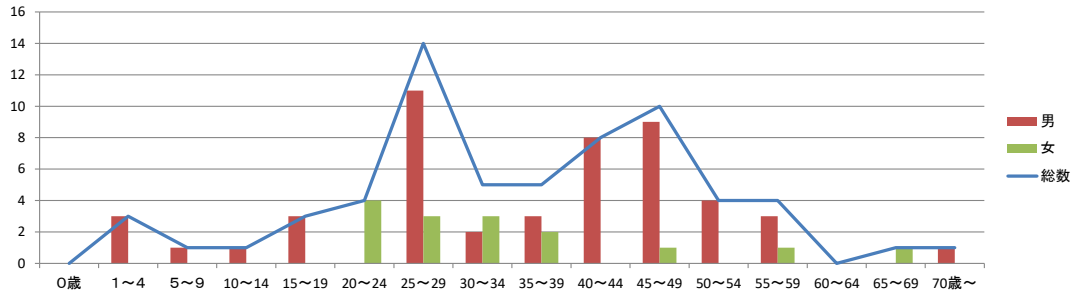
保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	E coli O18 とカンピロバクター同時検出 1 例（14 歳男） RS ウイルス感染症 1 例（2 歳女） 溶連菌感染症 2 例（3 歳男、7 歳男）
	野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例（4 歳女）
高知市	高知医療センター小児科	アデノウイルス 2 例（11 ヶ月女、1 歳女） hMPV 1 例（1 ヶ月女） RS ウイルス感染症 2 例（1 歳女、4 歳女） インフルエンザ B 型 2 例
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 1 例（10 歳） ノロウイルス腸炎 3 例（1 歳、2 歳、3 歳） カンピロバクター腸炎 2 例（10 歳、11 歳） カンピロバクターと病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例（21 歳）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 5 例 インフルエンザ B 型 1 例 溶連菌感染症とインフルエンザ B 型同時検出 1 例（7 歳女） 伝染性紅斑 2 例（3 歳女、11 歳男） RS ウイルス感染症 2 例（8 ヶ月女、11 ヶ月男）
	ふないキッズクリニック	hMPV 1 例（3 歳女）
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ気管支炎 1 例（9 歳女）
須崎	もりはた小児科	ノロウイルス胃腸炎 2 例 hMPV 6 例（5 ヶ月、1 歳 2 人、2 歳、3 歳、4 歳） マイコプラズマ感染症 7 例
幡多	さたけ小児科	hMPV 1 例（2 歳女）
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 2 例（25 歳男、61 歳女：同一施設入所中の方） 尿中肺炎球菌検出 1 例（61 歳女：hMPV 陽性）

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2020年第1週～第10週の累積報告数は64人となっており、そのうち88%（56人）が成人で、25歳から50歳代の男性を中心（男性49人、女性15人）に報告数の多い状態です。

2020年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

対象者・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

- ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布

1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加的対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年3月16日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第11週 令和2年3月9日(月)～令和2年3月15日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(10週)	高知県(11週未累計)		全国(10週未累計)
											R1/12/30~R2/3/15	R1/12/30~R2/3/8	
ウイルス科	インフルエンザ		1	16	6			23 (0.48)	56 (1.17)	15,498 (3.13)	7,082 (147.54)	550,706 (111.68)	
小児科	咽頭結核炎			2			2	4 (0.13)	1 (0.03)	1,065 (0.34)	74 (2.47)	11,915 (3.78)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	33	5	4	4	55 (1.83)	98 (3.27)	9,226 (2.92)	840 (28.00)	90,773 (28.84)	
	感染性胃腸炎	3	18	21	6	3	17	68 (2.27)	64 (2.13)	11,261 (3.57)	1,081 (36.03)	168,677 (53.58)	
	水痘		1	1				2 (0.07)	1 (0.03)	1,157 (0.37)	45 (1.50)	12,296 (3.91)	
	手足口病		2	3	1			6 (0.20)	9 (0.30)	247 (0.08)	93 (3.10)	4,235 (1.35)	
	伝染性紅斑	2		7	2	1		12 (0.40)	12 (0.40)	801 (0.25)	131 (4.37)	12,029 (3.82)	
	突発性発疹	1	3	3				7 (0.23)	6 (0.20)	833 (0.26)	70 (2.33)	8,590 (2.73)	
	ヘルパンギーナ							()	3 (0.10)	77 (0.02)	8 (0.27)	719 (0.23)	
	流行性耳下腺炎			1			3	1	5 (0.17)	3 (0.10)	150 (0.05)	32 (1.07)	1,540 (0.49)
	RSウイルス感染症		6	17			2		25 (0.83)	14 (0.47)	855 (0.27)	141 (4.70)	9,249 (2.94)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	5 (0.01)	()	42 (0.06)	
	流行性角結膜炎							()	()	295 (0.42)	6 (2.00)	2,964 (4.28)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	78 (0.16)	
	無菌性髄膜炎							()	()	9 (0.02)	()	94 (0.20)	
	マイコプラズマ肺炎			2				2 (0.25)	4 (0.50)	166 (0.35)	29 (3.63)	1,571 (3.29)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	3 (0.01)	()	14 (0.03)	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	10 (0.02)	4 (0.50)	136 (0.28)	
計 (小児科定点当たり人数)	6 (3.00)	40 (5.67)	106 (9.00)	20 (5.87)	13 (6.50)	24 (4.80)	209 (6.61)			41,666	9,637 (231.38)	875,628	
前週 (小児科定点当たり人数)	8 (3.25)	46 (5.81)	137 (11.36)	27 (7.80)	21 (10.00)	32 (6.33)		271 (8.20)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

第11週

定点名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(10週)	高知県(11週未累計)		全国(10週未累計)
											R1/12/30~R2/3/15	R1/12/30~R2/3/8	
ウイルス科	インフルエンザ		0.09	1.00	1.20			0.48	1.17	3.13	147.54	111.68	
小児科	咽頭結核炎			0.18			0.40	0.13	0.03	0.34	2.47	3.78	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.29	3.00	1.67	2.00	0.80	1.83	3.27	2.92	28.00	28.84	
	感染性胃腸炎	1.50	2.57	1.91	2.00	1.50	3.40	2.27	2.13	3.57	36.03	53.58	
	水痘		0.14	0.09				0.07	0.03	0.37	1.50	3.91	
	手足口病		0.29	0.27	0.33			0.20	0.30	0.08	3.10	1.35	
	伝染性紅斑	1.00		0.64	0.67	0.50		0.40	0.40	0.25	4.37	3.82	
	突発性発疹	0.50	0.43	0.27				0.23	0.20	0.26	2.33	2.73	
	ヘルパンギーナ								0.10	0.02	0.27	0.23	
	流行性耳下腺炎			0.09			1.50	0.20	0.17	0.10	0.05	1.07	0.49
	RSウイルス感染症		0.86	1.55			1.00		0.83	0.47	0.27	4.70	2.94
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.06	
	流行性角結膜炎									0.42	2.00	4.28	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.16	
	無菌性髄膜炎									0.02		0.20	
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.25	0.50	0.35	3.63	3.29	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01		0.03	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.02	0.50	0.28	
計 (小児科定点当たり人数)	3.00	5.67	9.00	5.87	6.50	4.80	6.61			231.38			
前週 (小児科定点当たり人数)	3.25	5.81	11.36	7.80	10.00	6.33		8.20					

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第11週)

